

ダムの是非 決着見えず

開発予算

2011

について
水策を
主権は
地方整

民主党政権が打ち出したダム見直し方針を受けて道内で対象となった五つのダム事業が来年度予算案でも足踏みが続く中、ダム以外の代替案と比較して再検証するため、国土交通省が開発局や道などに設置をもとめた「検討の場」が反対派のやり玉に挙げられている。顔ぶれが建設推進派で占められるため、「計画にお墨付きを与えるもの」として反発を強めており、次期概算要求に合わせた決着は微妙だ。

(報道本部 小園拓志)

「検討の場」やり玉に

「町内には水道が行き渡っておらず、農業にも必要」。14日、道が事業主体で国補助事業の厚幌ダム(胆振管内厚真町)について開催された「検討の場」で、とまごまい広域農協の浅野勝善組合長は早期建設を訴えた。厚幌ダムは、治水やかんがい・水道用水が目的で、総貯水容量は4740万立方メートル。政交代により、2012年度の本体工事着工は白紙になった。厚幌だけでなく、国直轄事業のサンルなど4ダムについても、民主党政権が建設に待ったをかけた。このため開発局は来年度予算案では、概算要求段階で平取ダムやサンルダムの付け替え道路工事を日までに相次いで立ち

実施主体	名称	所在市町	総貯水容量(立方メートル)	完成予定	総事業費	2009年度までの執行済み額
国	サンル	上川管内下川町	5720万	2013年度	528億円	274億円
道	厚幌	胆振管内厚真町	4740万	2016年度	360億円	133億円
道	三笠	三笠市	1億4730万	2015年度	835億円	414億円
道	三笠	三笠市	862万	2015年度	835億円	414億円
道	三笠	三笠市	4740万	2016年度	360億円	133億円

※平取は二風谷ダムの事業費を含む



会議に先立ち、厚幌ダムの付け替え道路を視察する「検討の場」参加者。14日、胆振管内厚真町

孤軍鯉谷氏行脚の日

元民主党道議で前道議会副議長の鯉谷忠氏(59)が、来年4月の知事選出馬に向け、道内行脚を続けている。これまで正式に出馬表明したのは鯉谷氏ただ1人で、連日、道内各地で集会和街頭演説のほか、インターネットを使って情報発信。ただ、党や連合の支援は受けられず、孤軍奮闘を強いられている。

「選挙戦まであと4カ月」

全力で全道を回り、新しい北海道をつくりたい。鯉谷氏は14日夜、札幌市清田区の集会で、約150人を前に意欲



集会後、集まった支持者ら一人一人、握手を交わす鯉谷氏(左)。14日、札幌市清田区

民

来年2月6日投開票の愛知県知事選をめぐり、自民党内で不協和音が起きている。出馬表明した大村秀章衆院議員(比例東海ブロック)の除名処分を党執行部が決定したことに、大村氏を支持する議員らが反発。地方選挙で連勝する党の勢いに水を差し、来春の統一地方選にも影響を与えかねないとの懸念が広がっている。

大村氏は、元総務省課

長補佐の重徳和彦氏の公

認を申請した自民党愛知

河村氏は減税恒久化条

例案が市議会でも否決され

たことの信を問うとして

直線ルート

国交省了承

を示していただいた」

と語り、直線ルート採

用などを歓迎した。付

帯意見では大阪開業の

■鉄道機軸剩余金を

幹線整備に、鉄道建設

運輸施設整備費機構構

抱える利益剰余金(昨

検討の場 政府が見直し 通省の開催要領では、必須の参加対象としている全国のダム 者は流域の自治体関係者のみで、について計画ごとにダム以外の治 水のほかには主催者の考えによる。 水策を検討して再検証する機関。 再検証の結果を2012年度概算 主権はダムを建設する開発局など 要求に間に合わせるには来年度こ の地方整備局や都道府県、国土交 えるまでに終結させる必要がある。

玉に 推進派で構成 反対派が批判

上がる予定だ。ただ、顔ぶれは事業主体の道や開発局に加え、流域市町村の行政関係者や農業団体など推進派が占める。開発局河川計画課は「予断なく代替案を検討する」と話すが、別の幹部は「同じ治水効果でコスト比較したらダムが一番割安」と断言。検討の場は事実上、建設推進に「お墨付き」を与える場になる可能性がある。

も、宮坂尚市朗厚真町長や、地元農協、婦人団体の代表、有識者ら約20人が出席したが、地元からの参加は推進派のみ。傍聴に訪れた、厚真出身で札幌在住の50代女性は「ダム予定地にはアイヌ民族の遺跡があると聞いている。もっと幅広く意見を聴く機会が必要だ」と批判した。

で問題を共有する必要がある」（脱ダムをめざす会の佐々木克之・道自然保護協会副会長）など、推進派との協議を求めているが、開発局と道は反対派からの意見聴取を公聴会などにとどめる考え。「走りだしている公共事業でも止める」と宣言していた民主党政権だが、反対派の間には失望感が漂っている。

帯広が中心市宣言

【帯広】帯広市の米沢則寿市長は15日の定例市議会で、総務省が進める定住自立圏構想に基づく「中心市宣言」を行った。宣言は小樽市、釧路市などに次いで道内7市目。市町村合併に代わる措置。十勝管内の全19

市町村を網羅し、帯広市は今後、医療や福祉、産業振興などの分野で各町村と個別に協定を締結し、連携する。国が自立圏と認定すれば、中心市に年間約4千万円、協定を結んだ周辺町村にそれぞれ約1千万円の特別交付

税が配分される。市長選出馬を飯島氏が表明

【夕張】前衆院議員の飯島夕雁氏(46)は15日、夕張市内で記者会見し、来年4月の夕張市長選への出馬を正式に表明、「医療、教育、国政などこれまでの知

脚の日々

道知事選

を語った。

網走市選出で当選6回を重ね、民主党・道民連合の長老議員だった鯉谷氏は、昨年11月に知事選出馬を表明。12月に道議を辞職し、選挙に向けた活動をスタートさせた。

活動は、街頭演説や小規模な集会が中心。130以上の市町村を回り、日本海、オホーツク海など道内を四つの海域別に分けた地域振興などを訴えている。ホームページには連日、活動内容や心境を書き込むなど、情報発信にも力を入れる。

民主支援なし、地道に訴え

ただ、民主党北海道内では、道議会で会派の分裂騒動などを起こした鯉谷氏への反発が強い。同党は、農林水産省の企画官の木村俊昭氏(50)に出馬要請しており、幹部は「鯉谷氏を推すことはない」と言い切る。党の支持母体の連合北海道も、鯉谷氏を応援した地方議員は支援しない構えで、鯉谷氏に近いとされる国会議員や道議さえ「応援は難しい」と漏らす。

党内では「(鯉谷氏は)本当に出るのか」と冷やかな声もあるが、鯉谷氏は「組織に頼って選挙をする時代ではない」と、地道に支援を訴えている。

■鉄道機軸剰余金を新線整備に 鉄道建設・輸施設整備支援機構が

■道内 一条道病院(旭川)、名寄市立総合病院、帯広第一病院、中根室病院

■助産 午前9時10分

ベキスタンのソビエト連邦議長、東部清水内閣府政策統括官、月1防衛

喜茂別町議選は15日、喜茂別町議会は15日、議員定数を現行の10から1削減し、9とする条例改正案を可決した。来年4月の次期町議選から適用する。

MANSEIKAKU HOTELS 脳科学で効果実証! 30年 黄金 野 10年 治せ 臨時収入 社長に